

## 地域の魅力が輝く自治と風格のまちづくり

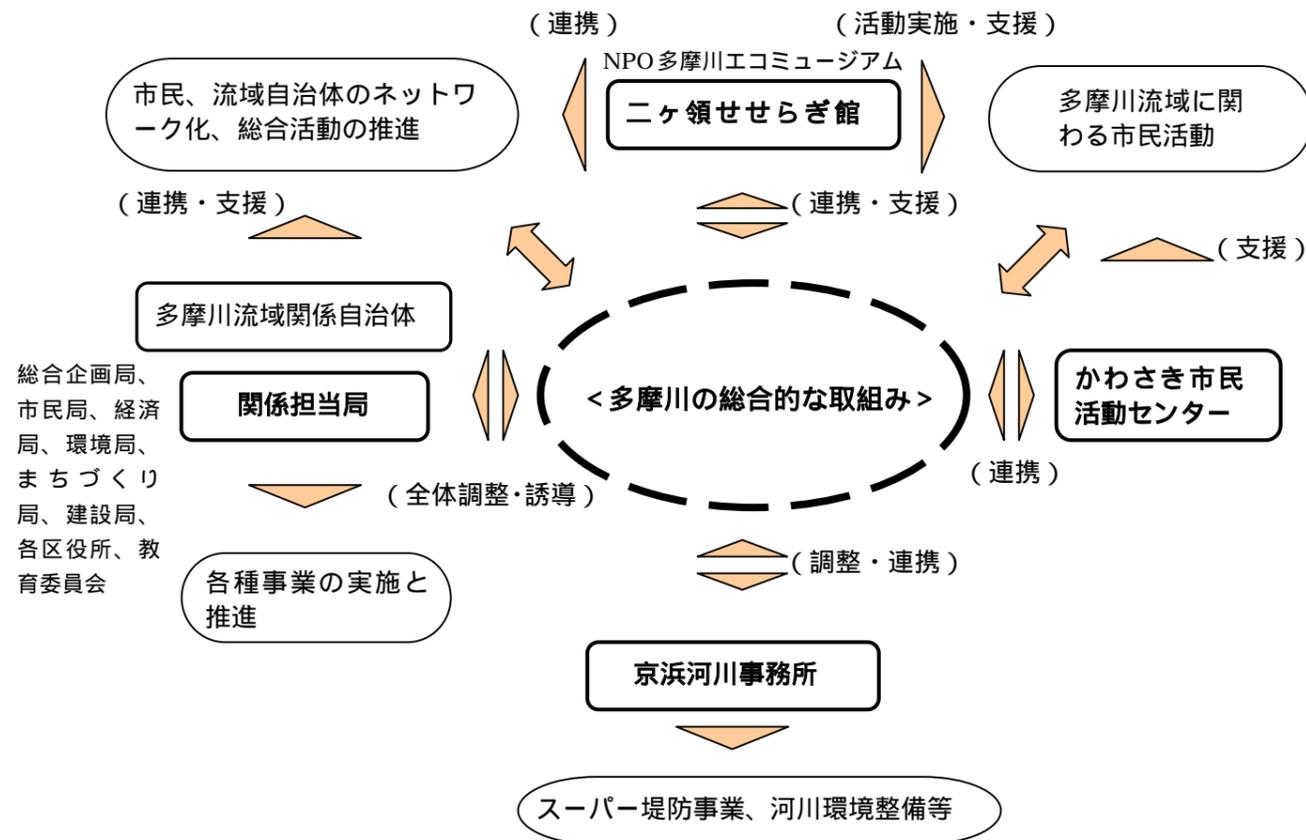
- ・ 多摩川を活かしたまちづくり . . . . . P 1
- ・ 多摩川に関する市民意識 . . . . . P 2
- ・ 多摩川の水質の経年変化 . . . . . P 3
- ・ 二ヶ領せせらぎ館とかわさき水辺の楽校 . . . . . P 3
- ・ 多摩川河川敷施設と駐車場一覧 . . . . . P 4
- ・ 現状と課題 . . . . . P 5
- ・ 想定される今後の主な計画 . . . . . P 6
- ・ 多摩川水系河川整備計画 . . . . . P 7

# 多摩川を活かしたまちづくり

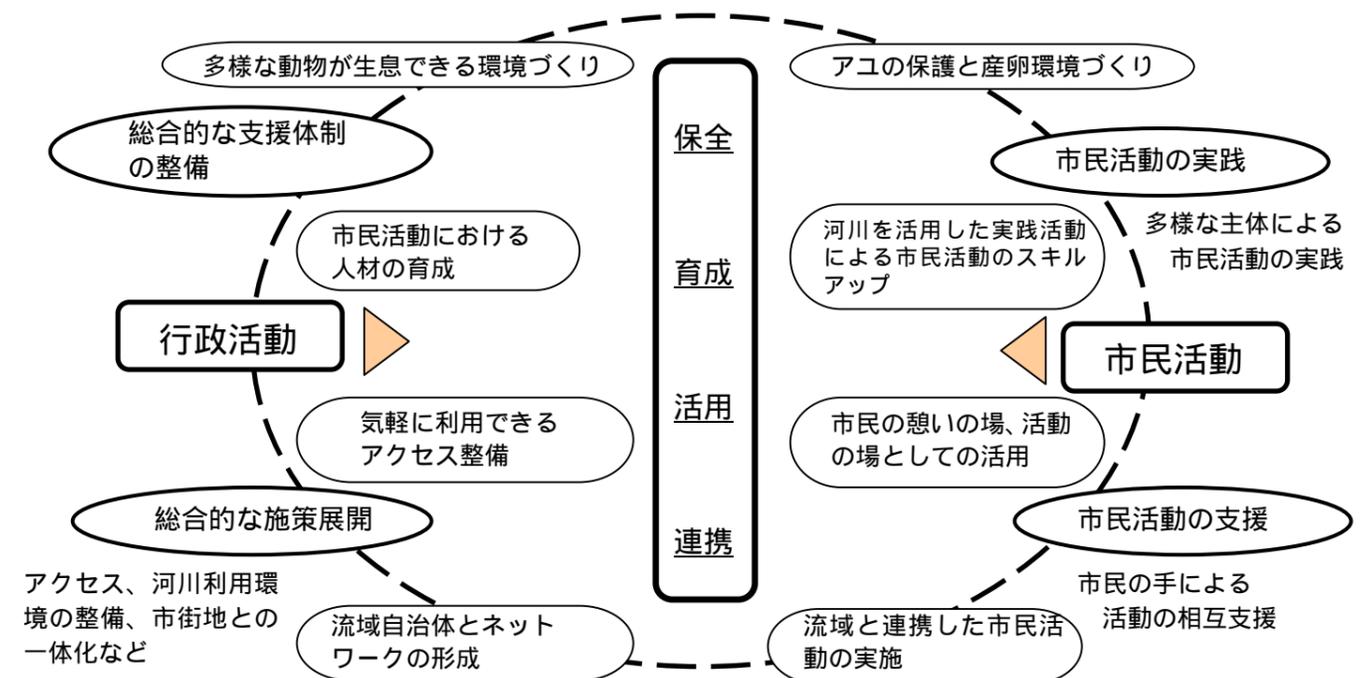
市民や子ども達が安全に多摩川にふれあい、  
その魅力を知り、活動できる環境づくり

多摩川を市民の貴重な自然空間として改めて見直し、市民の憩いの場、活動の場、学習の場としての活用へ転換する。  
市民、企業、国、流域自治体等との連携や協働、協調の取り組みを行い、多摩川の魅力を育てる。  
多摩川を活用した市民活動の展開を支援し、広く市民の利用につなげていく。

## < 総合的な支援体制の構築 >



## < 多摩川の総合的な取り組みのイメージ >



## 多くの市民が多摩川に親しめる方策を総合的に展開

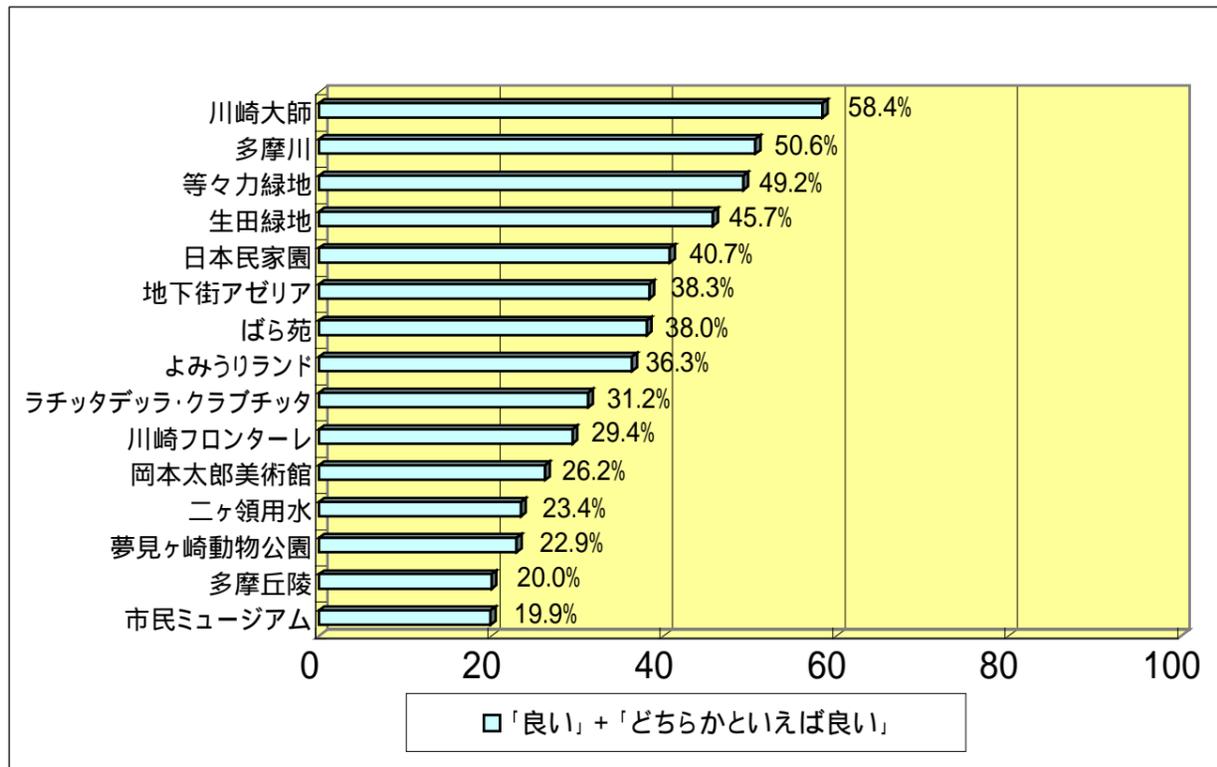
### [ 想定される主な事業 ]

- < 保全 > ・市民の手による魚類産卵床の整備 ・アユ育成の経年観察  
 ・産卵観察会の開催 ・さくらの植樹  
 ・多摩川景観形成に向けた取り組み 等
- < 育成 > ・適切に河川域での市民活動を指導・誘導できる人材の育成と市民活動支援  
 ・市民活動の支援をととして市民自身のスキルアップを図り、次代の市民活動リーダーを育成  
 ・河川防災ステーションを活用した「水辺の楽校」3校目の設立 等
- < 活用 > ・スーパー堤防整備と連携した多摩川のアクセス拠点の整備  
 ・トイレ、水飲み場、駐車場などの利用環境の整備  
 ・カヌー教室の実施 等
- < 連携 > ・流域自治体間の連携による総合的自然環境保全対策等の実施  
 ・上下流域の市民交流、市民活動団体の連携に向けた取り組み  
 ・国との連携による自然学習の場の整備 等



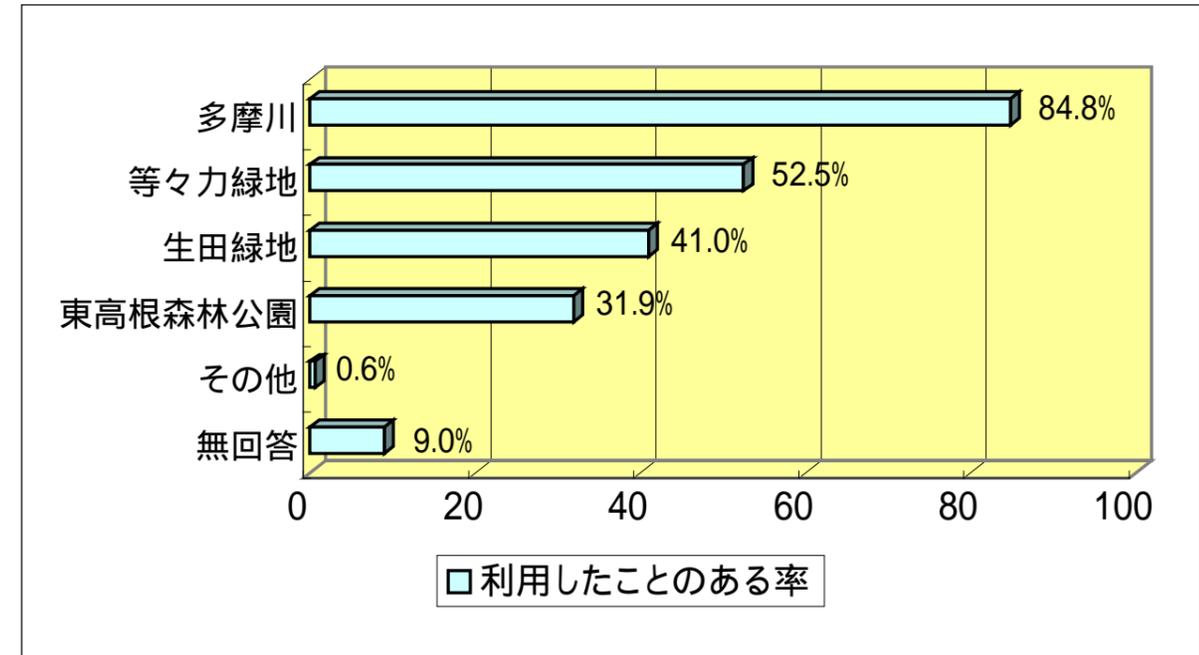
## 多摩川に関する市民意識

### 多摩川のイメージ



出典：川崎市民意識実態調査 平成16年3月

### 市内施設の利用状況（自然環境）



出典：川崎市民意識実態調査 平成16年3月

アンケート結果より、多摩川のイメージは川崎の主な施設や自然スポットの中で、半数以上が「良い」又は「どちらかといえば良い」と回答しており、川崎大師について2番目に良いイメージをもっている。また、イメージ結果を反映するように自然環境の施設の利用したことのある率は約85%であり圧倒的な結果となっている。これらの結果より、市民にとって多摩川は身近で大きな存在になっていることがわかる。

### 多摩川において市民が必要と感じる施設

単位：%

	全体	散歩	ジョギング	サイクリング	魚釣り	ピクニック	ボート乗り	イベント参加	野球	ゴルフ	その他
トイレ	69	70	84	76	75	72	69	71	72	61	72
自然公園	42	47	40	45	36	39	39	40	36	63	44
駐車場	32	26	26	24	38	38	43	30	45	40	38
休憩場	23	25	20	23	23	25	25	24	15	21	18
水飲み場	20	21	32	19	23	20	18	20	25	16	19
ベンチ	17	21	21	17	16	17	22	16	14	12	17
売店	15	13	10	16	23	19	17	19	21	13	16
自由広場	13	13	17	14	13	14	11	18	17	13	14
水上公園	8	8	7	9	8	6	9	12	6	8	9
河川までの交通アクセス	6	6	4	6	6	8	3	5	8	10	5
その他	3	2	1	2	4	0	4	2	2	1	5

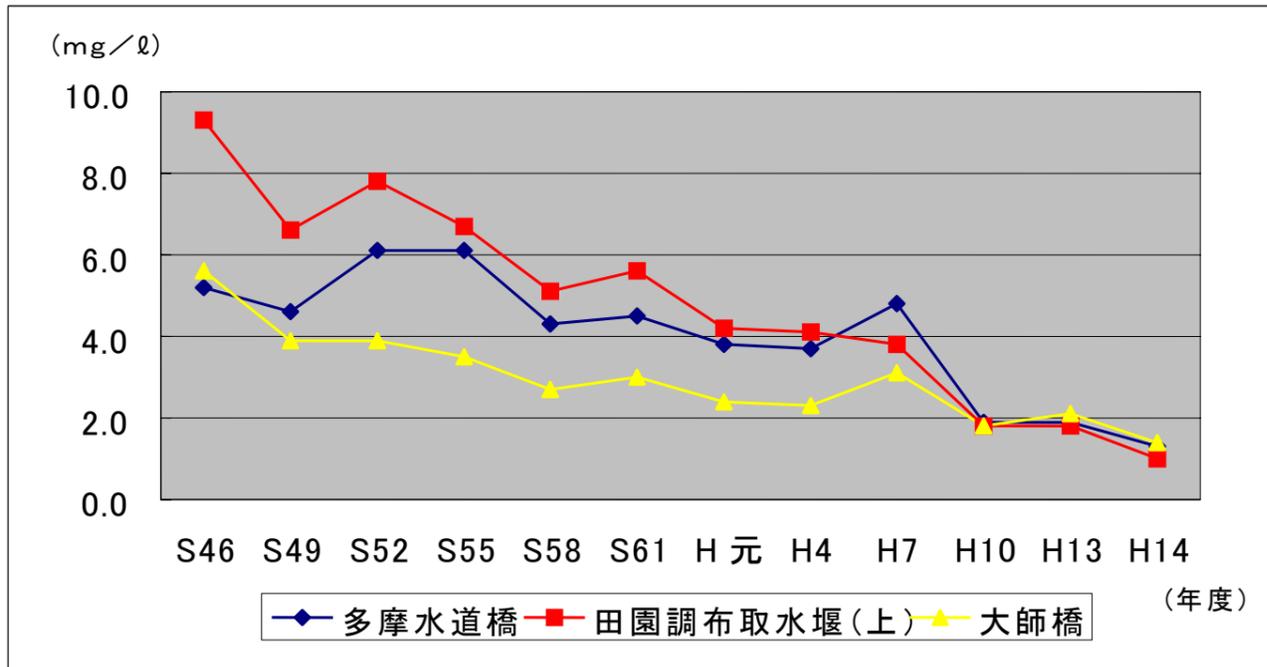
(注) 回答は複数

出典：川崎市民意識実態調査 平成9年3月

多摩川河川敷で市民が必要と感じる施設は、「駐車場」「トイレ」「飲み水場」などである。具体的には、野球をするために多摩川から離れて住んでいる市民が自動車アクセスできるように河川敷グラウンドの付近に「駐車場」を設けることや、ジョギングする人のために「トイレ」や「飲み水場」を設置することが考えられる。

## 多摩川の水質の経年変化

◎多摩川水系のBOD（生物化学的酸素要求量）経年変化図（年度平均値）



出典：水質年報 平成14年度

◎多摩川水系のBOD（生物化学的酸素要求量）経年変化表（年度平均値）

単位：mg/l

	S46	S49	S52	S55	S58	S61	H元	H4	H7	H10	H13	H14
多摩水道橋	5.2	4.6	6.1	6.1	4.3	4.5	3.8	3.7	4.8	1.9	1.9	1.3
田園調布取水堰(上)	9.3	6.6	7.8	6.7	5.1	5.6	4.2	4.1	3.8	1.8	1.8	1.0
大師橋	5.6	3.9	3.9	3.5	2.7	3.0	2.4	2.3	3.1	1.8	2.1	1.4

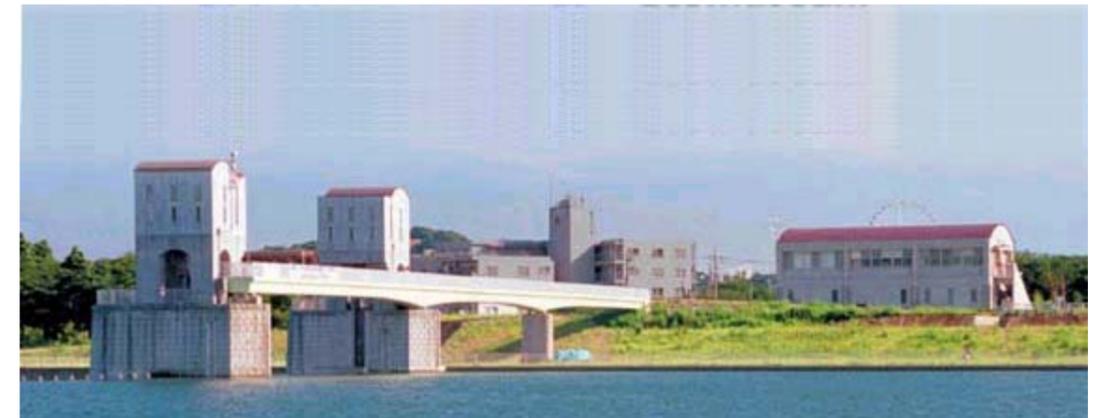
出典：水質年報 平成14年度

◎BOD（生物化学的酸素要求量）値による魚類の生息の目安

BOD(生物化学的酸素要求量)		
自然繁殖の条件	3mg/l以下	ウグイ、タモロコ等
	2mg/l以下	サケ、マス、アユ等
生育の条件	5mg/l以下	ウグイ、タモロコ等
	3mg/l以下	サケ、マス、アユ等

出典：水産用水基準（1995年度版）

## 二ヶ領せせらぎ館とかわさき水辺の楽校



二ヶ領宿河原堰と二ヶ領せせらぎ館

### かわさき水辺の楽校

かわさき水辺の楽校は国土交通省の施設である二ヶ領せせらぎ館を本拠地として、NPOやボランティアによって「多摩川の持つ豊かな自然を活用し、河川に関するさまざまな活動を通して水に親しむ楽しさを理解し、児童の健全な育成」を目指し、河川に関する安全教育や自然教育、河川をフィールドとする活動などを行っています。

現在、二ヶ領せせらぎ館の本校と等々力校の二カ所で活動を行っています。



水辺の楽校（等々力校）  
平成16年4月

# 多摩川河川敷施設と駐車場一覧

## 利用実績

### 多摩川に関する施設・イベントの利用実績

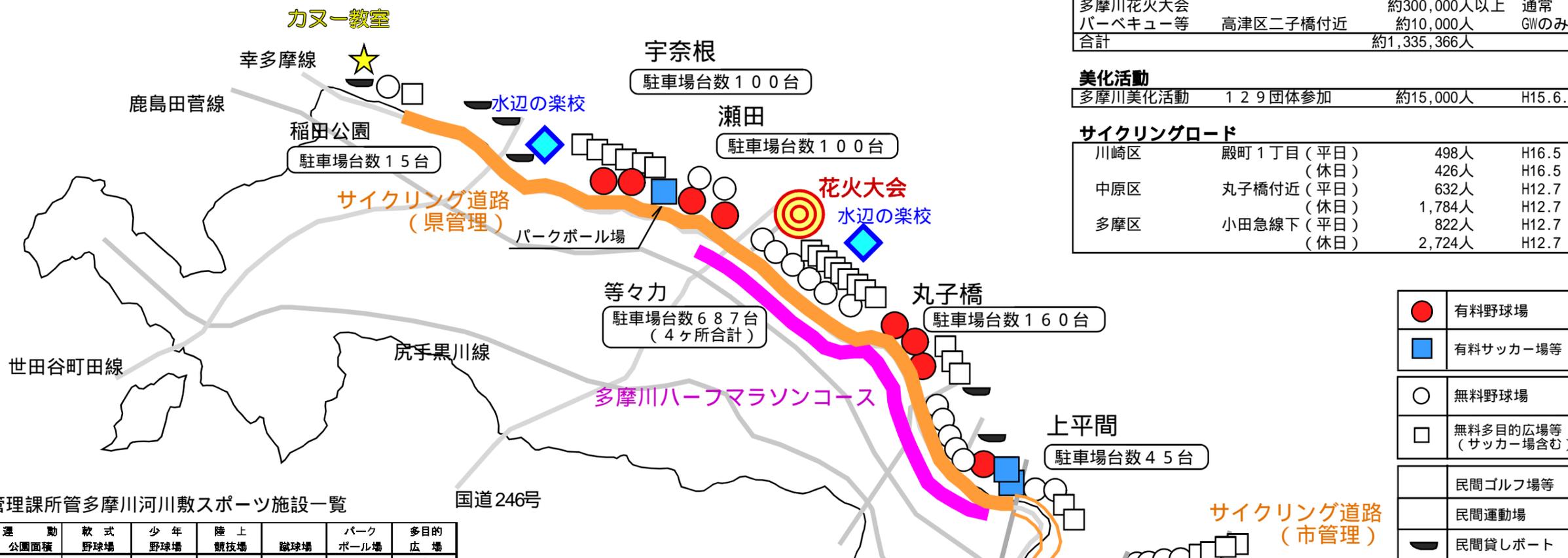
マラソンコース	団体利用	25,665人	H15
	ランフェスタ・駅伝	約10,000人	H15
カヌー教室		37人	H15
公園管理課施設	(無料施設は推定)	約987,262人	H15
水辺の楽校		2,402人	H15
多摩川花火大会		約300,000人以上	通常
バーベキュー等	高津区二子橋付近	約10,000人	GWのみ
合計		約1,335,366人	

### 美化活動

多摩川美化活動	129団体参加	約15,000人	H15.6.1
---------	---------	----------	---------

### サイクリングロード

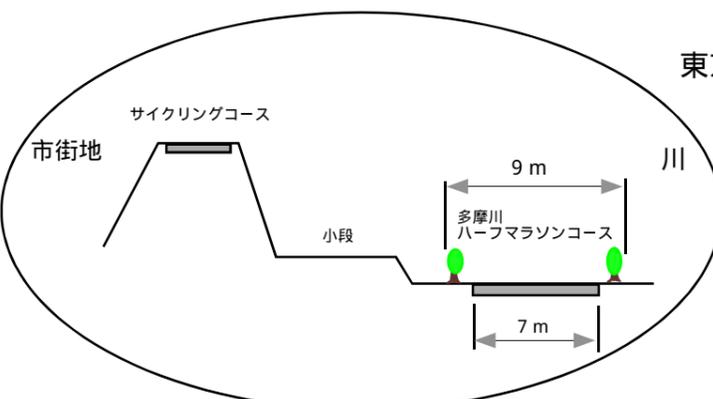
川崎区	殿町1丁目(平日)	498人	H16.5
	(休日)	426人	H16.5
中原区	丸子橋付近(平日)	632人	H12.7
	(休日)	1,784人	H12.7
多摩区	小田急線下(平日)	822人	H12.7
	(休日)	2,724人	H12.7



公園管理課所管多摩川河川敷スポーツ施設一覧

区別	施設名 緑地名	運動 公園面積	軟式 野球場	少年 野球場	陸上 競技場	蹴球場	パーク ボール場	多目的 広場
川崎	殿町	5,914						○
	大師河原	8,392						○
	中瀬	29,740	○2			△		
	鈴木町	24,680	○2			△		
小計	68,726	4	—	—	—	—	4	
幸多摩	小向町			○3				
	小向野町	20,587						
	多摩川大橋	10,302		○				
	古市場	95,542		○	○	○		○
	小計	126,431	—	5	1	1		2
中原	上平間	62,030	○			○		○2
	中丸子	25,516						○
	下沼部	4,691						
	上丸子山王	6,473		○				
	丸子橋	56,078						○3
	上丸子天神	80,164	○3					○3
	等々力	22,449						○
宮内	20,227						○	
小計	277,628	4	1	—	1		11	
高津	下野毛	28,161						
	北見方	19,745		○				
	諏訪	37,538		○3				○
	瀬田	19,770		○				
	二子	30,485	○2ソフト2					
	二子・久地	6,623						
	久地	8,662						○
宇奈根	71,694	○2					○2	
小計	222,678	6	5	—	1		3	
多摩	菅	24,945		○				○
小計	24,945	—	1	—	—	—	1	
合計	720,408	14	12	1	3	1	20	

■ : 有料施設



# 現状と課題



**多摩川へのアクセスの現状**

歩道橋設置	8ヶ所
内スロープ付	1ヶ所
信号機+横断歩道	42ヶ所
内スロープ付	27カ所

\* 川崎市域の多摩川堤防と沿川道路のアクセスポイントの調査

横断歩道橋

水洗トイレ  
 非水洗トイレ

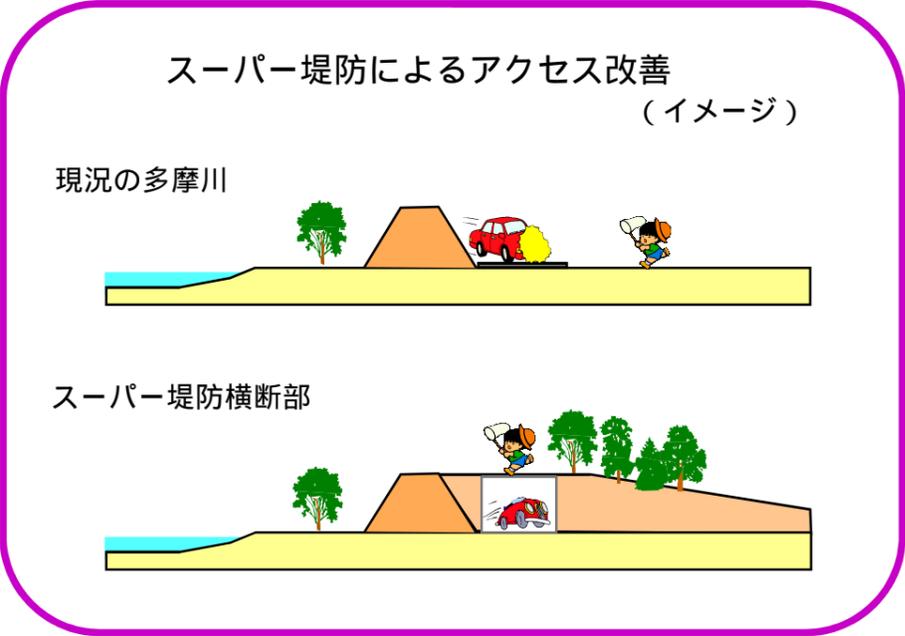
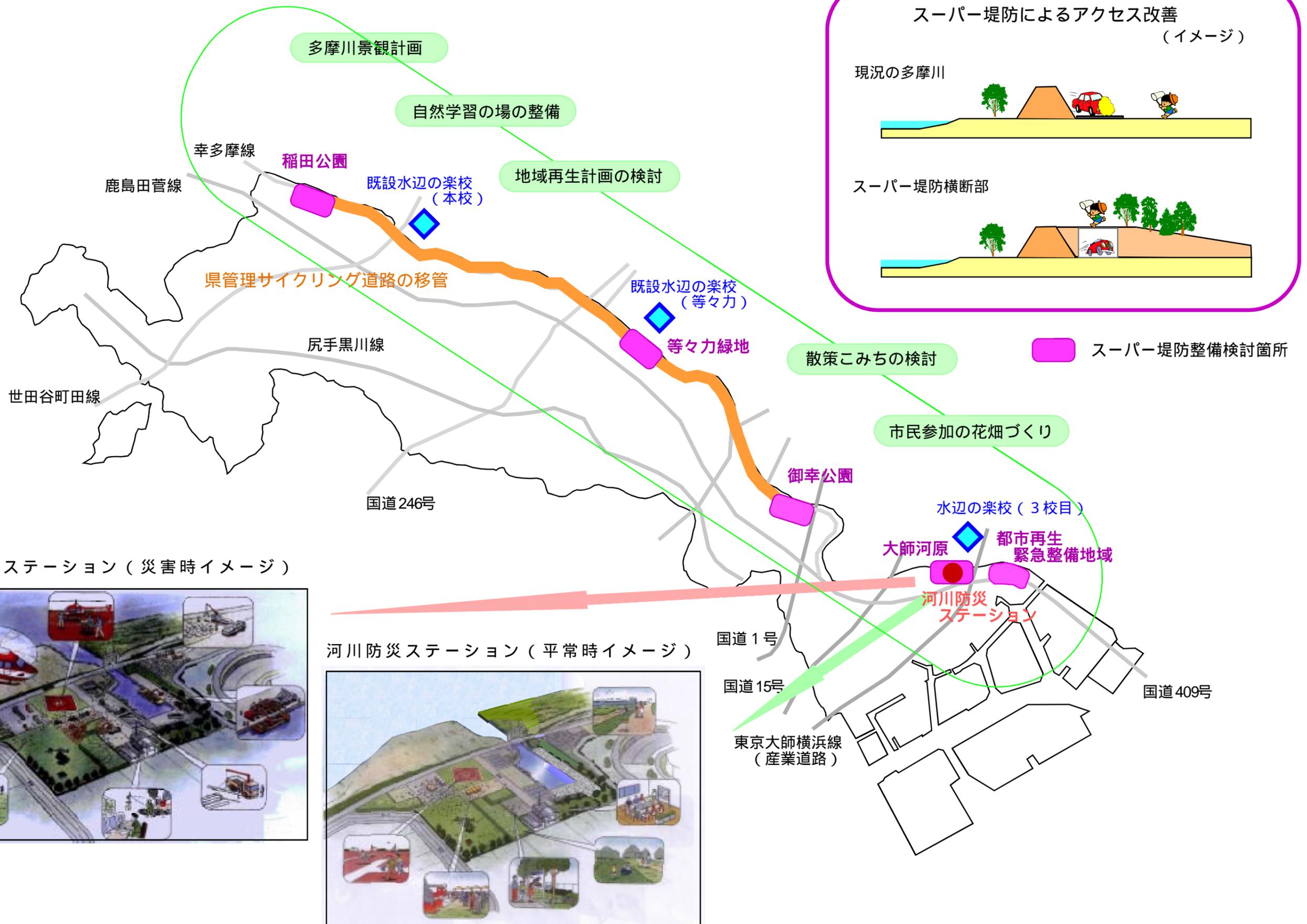
## トイレの現状

- ・河川敷内非水洗化トイレ21ヶ所(33基)
- ・河川敷内水洗トイレ2ヶ所(二ヶ領せせらぎ館を含む)
- ・近隣水洗トイレ4ヶ所(稲田公園、布田橋上河原堰、等々力緑地、御幸公園)

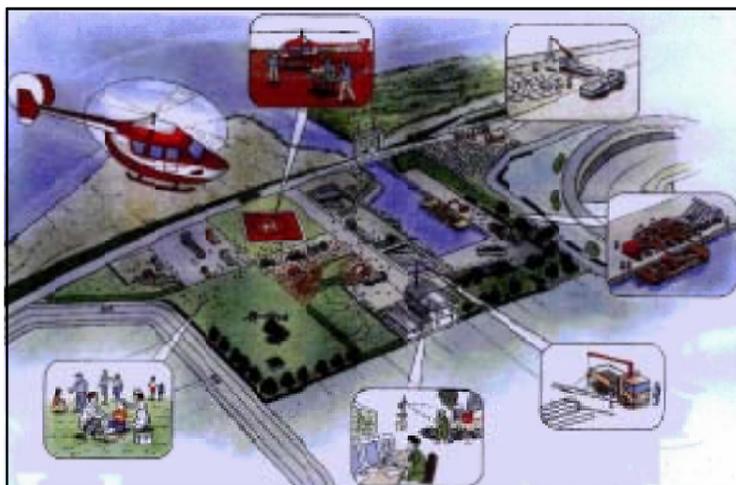
## 駐車場の現状

宇奈根駐車場	100台	<ul style="list-style-type: none"> <li>・等々力緑地駐車場については、4ヶ所合計で687台確保されているが、緑地内の施設利用が多い</li> <li>・稲田公園駐車場は通常15台程度</li> </ul>
瀬田駐車場	100台	
丸子橋駐車場	160台	
上平間駐車場	45台	

# 想定される今後の主な計画



河川防災ステーション (災害時イメージ)



河川防災ステーション (平常時イメージ)



スーパー堤防整備検討箇所

5つのゾーニング分けと8つの機能空間

周囲の環境や河川利用の要望等に配慮し、多摩川が持つ個性や姿を生かしながら、人々の暮らしと自然の調和を目指した5つのゾーンを設定し、さらにそれぞれの地域に合った利用と自然の保全を目指した8つの機能空間に区分する。

**A 人工整備ゾーン**

運動施設、遊戯施設、休憩施設、修景施設、便益施設等の人工的施設を積極的に整備するゾーンである。

**B 施設利用ゾーン**

人工的な施設が中心となるが、とくに堤外地の自然環境が優れている部分については、自然的レクリエーション施設、文教施設を配慮する。

**C 整備・自然ゾーン**

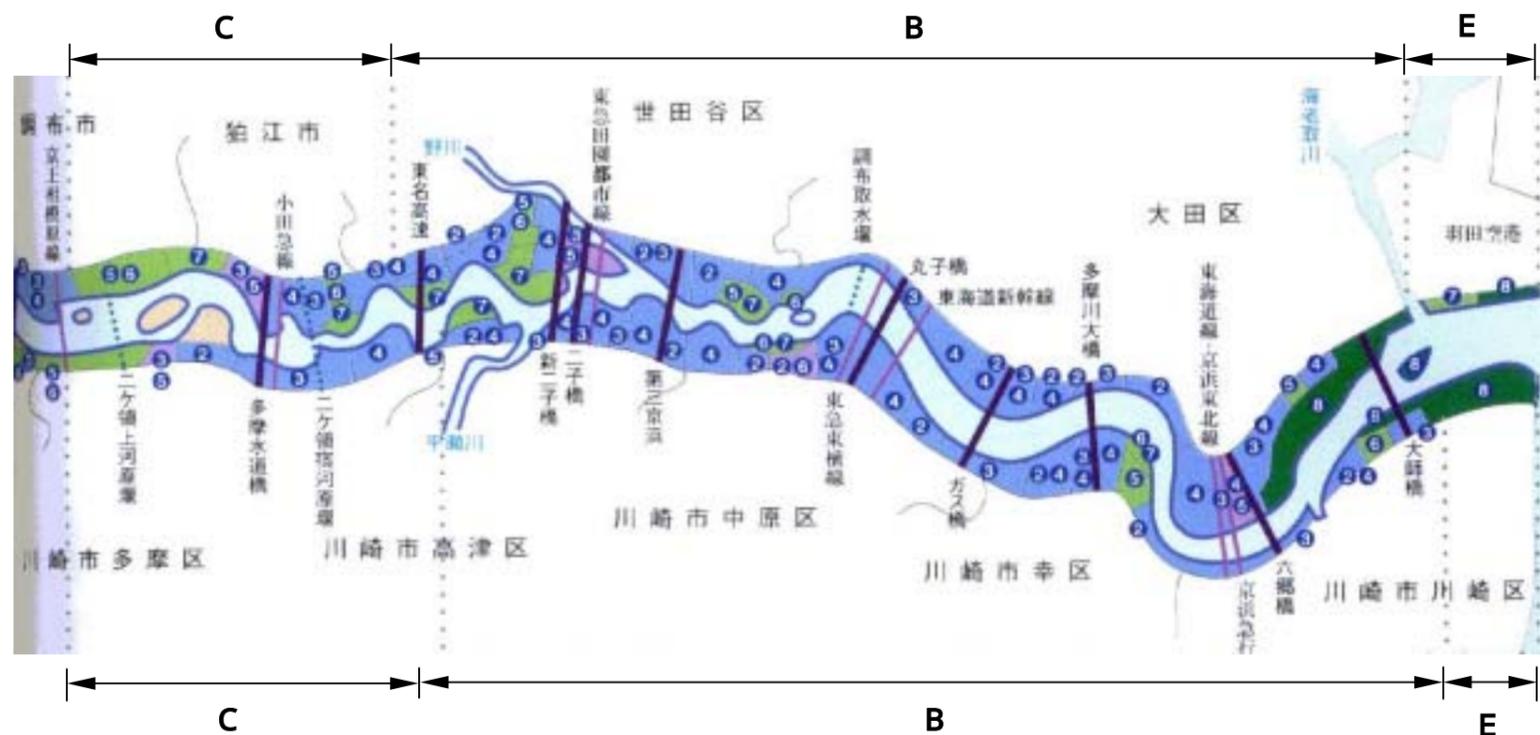
人工的利用と自然的利用が相半ばしているゾーンであり、散策路、休憩施設等を配慮する。

**D 自然利用ゾーン**

野草園、自然観察園、自然探勝路等の自然的な施設を中心に整備する。しかも若干の人工的施設を配慮する。

**E 自然保全ゾーン**

自然生態系の保全を目的としたゾーンであり、積極的な人工的利用を図るための施設は原則として持ち込まない。



**避難空間**



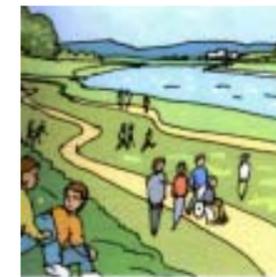
沿川住民が災害時に避難するための安全な広場を確保しようとする要請にこたえる機能空間

**地先施設レクリエーション空間**



沿川住民のための人工的な施設利用の余暇レクリエーション空間を意味し、例えば児童公園、近隣公園等に対する要請にこたえる機能空間

**広域施設レクリエーション空間**



総合公園、広域公園的な利用を望む広域住民からの要請にこたえる機能空間

**運動・健康管理空間**



運動公園、健康管理施設的な利用を望む広域及び沿川住民からの要請にこたえる空間

**自然レクリエーション空間**



多摩川の自然との触れ合いを対象としたレクリエーション利用を望む広域及び、沿川住民からの要請にこたえる機能空間

**文教空間**



多摩川の自然との触れ合いを対象とした文教空間に対する広域及び沿川住民からの要請にこたえる機能空間

**情操空間**



身近な自然を保全若しくは保護することで、住民の情操観念の育成に資する機能を有し沿川地域からの要請にこたえる空間

**生態系保持空間**



全人的見地から、学術的に価値づけられる、広域的にみた貴重な生態系を保持しようとする空間